



平成 29 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名	株式会社ファステップス
代表者名	代表取締役社長 高橋 秀行 (コード番号 2338 東証第二部)
問合せ先	取締役管理部長 村山 雅経
T E L	03-5360-8998 (代表)

第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債に係る

資金使途および支出時期変更のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年 10 月 11 日付「第三者割当による第 6 回新株予約権の発行及び第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」および平成 28 年 12 月 19 日付「第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債に係る資金使途および支出時期変更のお知らせ」にて開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」（以下、「資金使途」といいます。）および支出時期について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更理由

当社は、平成 28 年 10 月 11 日付「第三者割当による第 6 回新株予約権の発行及び第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債による調達資金の使途については、アイラッシュケア事業を含む総合美容事業のグローバル展開資金、運転資金に充当する予定でございました。

しかしながら、平成 29 年 4 月 28 日付「継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ及び(訂正)『平成 29 年 2 月期決算短信[日本基準](連結)』の一部訂正について」にて開示いたしましたとおり、当社は、平成 27 年 11 月 2 日付けで村井幸生氏（以下「村井氏」といいます。）及び村井氏の親族 1 名（以下総称して「村井氏ら」といいます。）との間で株式等譲渡契約を締結し、これに基づき、村井氏らが所有していたエムアンドケイ株式会社（以下「エムアンドケイ」といいます。）の株式を取得しましたが、取得の対価である株式譲渡代金の一部については、分割支払での合意をしておりましたところ、前代表取締役である川嶋誠氏退任に伴い、株式等譲渡契約に基づき期限の利益が喪失したことにより、株式譲渡代金の一括弁済を求められておりました。

この度、村井氏らとの間で支払条件の見直し等の交渉を続けた結果、①株式譲渡代金を 117 百万円減額すること、②当社は、株式譲渡代金の残額については、平成 29 年 5 月 31 日までに 100 百万円を支払い、平成 29 年 12 月 31 日までに 282 百万円を支払うこと、③村井氏はエムアンドケイに対する立替金 82 百万円を平成 29 年 12 月 31 日までに弁済すること等を内容とする和解が成立しました。

以上より、総合美容事業のグローバル展開資金として予定していた金額のうち、100 百万円をエムアンドケイの株式譲渡代金弁済に充当することといたしました。これは、期限の利益が喪失した結果、500 百万円の一括弁済を求められておりましたが、手元資金が不足しておりましたため、和解の条件を満たすために、当該資金 100 百万円を充当することといたしました。この 100 百万円を支払うこと

により、村井氏が東京地方裁判所へ申し立てておりました、債権仮差押命令の申し立てを取り下げる
ことについて合意しております。

また、当初計画しておりました、アイラッシュケア事業を含む総合美容事業のグローバル展開の進
捗が滞っております。これは、アイラッシュケア事業の国内での事業の立て直しを行っているところ
であり、人事制度や商品仕入先の見直し、経費の削減等を押し進めており、総合美容事業のグローバ
ル展開には時期尚早なためであります。これらの立て直しに一定の目処が付く、平成 29 年 7 月以降に
改めて、総合美容事業のグローバル展開を進めてまいります。平成 28 年 12 月と今回の資金使途変更
によって、不足するアイラッシュケア事業を含む総合美容事業のグローバル展開資金 200 百万円に
ついては、当該事業展開の進捗状況により、必要に応じて改めて調達する予定でございます。

2. 変更内容

変更箇所は以下のとおりです。

なお、【変更前】には平成 28 年 12 月 19 日付「第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債に係る資
金使途および支出時期変更のお知らせ」による変更後の内容を含んでおります。また、変更部分は下
線を付しております。

【変更前】

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

b. 新株予約権付社債による調達資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な使途	金額 (千円)	支出予定時期
① アイラッシュケア事業を含む 総合美容事業のグローバル展 開資金	<u>270,000</u>	平成 29 年 <u>1</u> 月～平成 30 年 2 月
② 運転資金	18,000	平成 28 年 11 月～平成 29 年 2 月
③ 金融機関への借入金返済	100,000	平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月

4. 資金使途の合理性に関する考え方

① 戦略的事業会社の概要と資金使途

3) 本第三者割当による調達資金の充当について

当社は、本戦略的事業会社において以下の通り、投資計画を予定しております。

(単位：百万円)

	平成 29 年 2 月期	平成 30 年 2 月期
1) 設立費用	13	0
2) アイラッシュサロン出店費用	90	<u>311</u>
3) 美容販売製品の仕入費用	40	<u>240</u>
4) 販管費・人件費	35	<u>631</u>
計	178	<u>1,182</u>

【変更後】

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

b. 新株予約権付社債による調達資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な用途	金額 (千円)	支出予定時期
① アイラッシュケア事業を含む 総合美容事業のグローバル展 開資金	<u>170,000</u>	平成 29 年 <u>7</u> 月～平成 30 年 2 月
② 運転資金	18,000	平成 28 年 11 月～平成 29 年 2 月
③ 金融機関への借入金返済	100,000	平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月
④ <u>エムアンドケイ株式会社の株 式譲渡代金弁済</u>	<u>100,000</u>	<u>平成 29 年 5 月</u>

4. 資金用途の合理性に関する考え方

①戦略的事業会社の概要と資金用途

3) 本第三者割当による調達資金の充当について

当社は、本戦略的事業会社において以下の通り、投資計画を予定しております。

(単位：百万円)

	<u>平成 30 年 2 月期</u>	<u>平成 31 年 2 月期</u>
1) 設立費用	13	0
2) アイラッシュサロン出店費用	90	<u>62</u>
3) 美容販売製品の仕入費用	40	<u>40</u>
4) 販管費・人件費	35	<u>95</u>
計	178	<u>197</u>

3. 今後の見通しと影響

本件変更に伴う、当社業績への影響は精査中であり、今後開示すべき事項発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上